

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様のご多幸を心よりお祈りいたします。

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況で、グループホームファミリアでも年末から年始にかけて、利用者様、職員と立て続けに感染があり、皆様には大変ご心配、ご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございませんでした。

グループホーム内外のイベントや活動についても、自粛を余儀なくされる事も多かったですが、今後は感染症予防や対策をさらに意識し、安心して楽しく生活していただけるように職員一同精進していく所存でございます。

グループホームファミリアも開所して1年8か月が経過し、利用者数も7名となり、全室満室となりました。今後は安定した運営を目指すと共に、「快適で安全かつ当たり前の暮らしを提供する事」をモットーに、安心・安全に住める家として利用者様に喜んでいただけるよう努めて参ります。

本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

昨年は『相談支援事業所ぱいろっと』の活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている方、後遺症などに悩まされている方には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、『相談支援事業所ぱいろっと』も開所して、早いもので3年9か月が過ぎました。たくさんの方々のご協力に支えられ、令和5年1月現在、障がい児・者合わせて、130名以上の皆様のご相談をお受けする事が出来ておりますのは、ひとえに皆様のお陰と感謝申し上げます。たくさんのご相談をお受けする上で、「親亡き後」に残された方々が、安心して暮らせるよう後見人等を立てて生活を送る仕組みが必要となるケースが多く見られます。そこで、今回は「成年後見制度」について少しお話しさせていただきます。

「成年後見制度」とは、障がい等で判断能力が十分でない方を対象に、ご本人の権利を守る支援者（保佐人・補助人・後見人）を選ぶ事でご本人を法的に支援する方法の事を言います。平成28年4月に障害者差別解消法が施行され、障がいのある人が差別や虐待から守られ、地域で自立した生活が送れるように、当たり前の生活を当たり前に行える社会を目指して、障がい者の権利擁護を推進する事から、障害の有無によって分け隔てられる事なく、相互に人格と個性を尊重しあいながら、共生する社会の実現に繋げる必要性が叫ばれました。

ご本人にとって必要な制度やサービスに結びつけるために、相談支援専門員として、成年後見制度の正しい活用が出来るよう、適切にご提案が出来るように努めて参ります。

分かりにくい事やご相談・ご質問などございましたら、遠慮なさらずに、先ずはご一報いただければと思います。

本年もどうぞよろしく願いいたします

編集後記 今年のはうさぎ年ですね。うさぎ年は跳ねる年といわれます。コロナや物価上昇など、いろいろと大変な世の中ですが、上向きに跳ねる年になる事を祈っています

文責：津浦

明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は当法人事業につきまして温かいご支援、ご協力を賜り深謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大により社会の不安、経済の落ち込みが世界中に広がりました。

日本ではこの事態で多くの課題が見受けられました。しかし反面ではオンライン化が進みウェブ会議やオンライン研修会など今後もテクノロジーを駆使した社会が進んでいく予感が感じられます。

まだまだ感染は収まっておりませんが、当初の暗く不安な日々とは変化しているようで、今年の「歌会始」では、天皇陛下がコロナを読み込まれていくらか明るい兆しを与えられたように思います。

当法人の昨年を振り返りますと、グループホーム「ファミリア」では7名入居し定員を満たし安定した運営となっております。課題はありますが管理者、サビ管、事務員、支援員一同力の総和で対処しております。

短期入所「ぷくぷくほーむ」では数名の利用者様が「ファミリア」へ入居されましたが、新たな利用者様に利用していただくことが出来、ご家族に喜んでいただいております。

放課後等デイサービス「てくてく」では、吉川管理者が病氣と闘いながらも逝去し、職員一同悲しみの日々を送りました。明るくひまわりを思わせる管理者でしたが、今は天国から見守ってくれていることを信じております。

「わかば園」では、去年は同じ大津地区にある一戸建て住宅をいただきました。就労継続支援B型でのわかば園の作業場が手狭になりマンションの一階の一室を借り出張所として使っておりましたが、マンションを引き払い、頂いた住宅をリフォームし新たな出張所として使用しております。

コロナウイルス感染症が影響しているかどうかは定かではありませんが、街に出向いてみると障がい者の姿を見かけることがあまりありません。外出は殆どが家族（特に母親）と一緒に、成人となっても変わらない姿です。もっと買い物に、外食に、遊びにと自分らしい暮らしを謳歌していただきたいと望んでおります。

そのため、当法人では昨年より検討準備しているヘルパー事業所開設を進めていきたいと思っております。家族とばかりではなく、ヘルパーの支援を受けどんどん街へ出かけ当たり前の暮らしを送っていただきたいと切望いたします。

職員の皆さまには研修機会を増やし知識、技能を高めるための援助を行い育成に努めます。昨今の人材不足という状況の中業務の効率化の検討、テクノロジー導入を進めて参ります。また、これまで以上に社会、地域への貢献を熟考し行動いたします。

皆様方の尚一層のご指導、ご支援、ご厚情を賜りますようお願いいたします。

最後になりますがウクライナ、ロシアの戦いが収束し、皆様にとって平和で輝かしい年となりますよう心より祈念申し上げ年頭のあいさついたします。



新年明けましておめでとうございます。

ご家族の皆様にはわかば園の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

また関係機関はじめ地域の皆様のご支援を頂き、新年を迎えられたことを感謝申し上げます。

さてコロナの感染が単発的でしたが当園でもありました。他施設も利用されている方が感染された場合もありました。園内での衛生対策だけでは難しいことです。

例年されてきた恒例の行事は中止となる1年でした。でも、工夫して活動が盛り上がるように職員一同努力してまいります。

<就労継続支援B型>

わかば園の近くにある家屋の寄付の申し入れがあり、古浜町の作業所では手狭であることと歩いて行ける距離でもあることから、申し受けました。手続きに時間を要しましたが、登記移転も終了しました。床が畳ですので、作業所とするには板張りにするリフォームが必要でした。幸い長谷川福祉財団から助成を頂くことができ令和4年11月末に工事も完了し、12月下旬に移転を完了しました。

作業場が二部屋となり、ゆとりができたことで作業に集中しやすい環境になりました。

利用者様からも「新しい作業所、ええで！」との声も聞こえます。作業所まで歩いていく事で、運動不足解消につながればと考えています。新たな気持ちで作業に取り組んでいます。

<生活介護>

毎朝、利用者様の笑顔や「おはよう」の挨拶に気持ちの良い1日がスタートしています。

コロナにより、たくさんの行事が制限されていますが、その中でも室内で間隔を取りながら魚釣りやフリスビーで他利用者様と数を競ったり賞賛したり、ホッケーで対戦ゲームをしたりと関わりを楽しませております。暖かな時間にはウォーキングに出かけ、地域の方々と挨拶を交わしたり、草木の臭い・風の音・鳥のさえずりに耳をすませ、五感を刺激しながらの一時を過ごします。

音楽活動では利用者様のリクエストを取り入れたり、軽快なリズムやスローテンポの曲に合わせて、体を揺すったりして個々の楽しみ方をされています。壁画制作では、お一人お一人が、得意とする工程で参加され、玄関に展示した時に「ここ〇〇さんと一緒に作りましたね」など会話も弾み、就労の支援員や利用者様からも「かわいいな」「いいね」など声をかけていただき、達成感を得られています。今年度も利用者様に有意義な時間を提供できるよう支援に努めてまいります。



就労継続支援B型：新作業所



生活介護：利用者様の作品

謹んで新春のお慶びを申し上げます。保護者の皆様には、てくてくの活動にご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

このたび前任管理者の逝去に伴い、後任として管理者を兼任させていただくこととなりました。つきましては前任者の遺志を受け継ぎ、微力ではございますがご家族が安心して利用いただけるよう努めてまいりますので、何卒ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今年の活動のスタートは、「音楽療法」です。お正月のメロディーに子たちも季節を感じ、神社に初詣へ行きお参りをしました。外に出る活動も再開し、自治会の方が育てて頂いた「さつまいも」を収穫することができ、徐々に自然と触れ合う喜びを身体で感じ子ども達の楽しい笑い声が青空に響き渡りました。このように活動が再開できるのも、ひとえにご家庭での健康管理のおかげと感謝しております。

今年は、卯年ですので、足にぐっと力を入れびよんと飛躍していける、素晴らしい年になりますよう、職員一同努めてまいります。



いもほり



音楽療法



正月あそび

ぷくぷくほーむ(短期入所・日中一時)

管理者 吉川愛基

あけましておめでとうございます。

旧年中はひとかたならぬご愛顧を賜り、ありがとうございました。本年もよろしくお願い致します。

利用者様同士が楽しく、安全・安心して利用していただける様に、昨年には利用者様のご家族様・職員の意見を参考に、座椅子や障害物センサー付き電気ヒーター等、現状より少しでも快適に過ごしてもらえるように取り入れました。

また、コロナ感染対策には換気、手指の消毒、うがい等に加えて、アクリル板の設置や利用後の次亜塩素酸での消毒を行い、安全な日々の生活を送っております。

一人一人の意見・意思を尊重し、利用者様が楽しく過ごし、今より少しでも満足してもらえよう、それぞれに合った過ごし方を、より細やかに、具体的に行えるように日々努力してまいります。

